

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポップステップジャンプ		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 14日		～ R7年 11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R7年 10月 14日		～ R7年11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	リズムトレーニング	・インストラクターによるリズムトレーニングを行う。 ・8ビートによるリズムに合わせた運動を行う事で脳の前頭葉を刺激しストレスフリーの状態を作ることが出来ている。 ・ビートに合わせてジャンプを行う事でできることと言った達成感や自己肯定感の向上を促している。	・リズムトレーニング以外の運動も積極的に取り入れ、身体の機能をたくさん使い運動に対する自信や自己肯定感を高めたり丈夫な体づくりをしていく。
2	戸外での運動スペースの確保	・室内での活動以外にも戸外にも十分身体を動かして活動できるスペースを確保している。戸外での活動も充実させることにより体力の向上やボールや縄を使った運動を取り入れ空間認知力の向上等、様々な効果を期待できるような支援を行っています。	戸外でできる活動の種類を増やし様々な運動や活動を通して個々の能力が向上していく支援を行う。
3	行事参加や社会体験	子どもたちが楽しめるようなイベントを開催したり、地域の行事や各地で行われているイベントなどに参加し普段できない様な体験ができるような計画を立てています。	子ども達の興味や関心のある事などを取り入れた、行事や地域のイベントなども常にチェックし参加して行く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動を取り居てた活動が多い為怪我のリスクが多い。	運動や身体を動かす活動がメインの為、けがのリスクが高い。	事前に遊び方やルールを知らせたり、マットを敷いたり職員が側で見守るなどの安全面の配慮や環境設定を行う。
2	ペアトレーニングや家族会議の機会がない。	ペアトレーニングや家族会のかいさいが出来ていない。開催するにあたって職員の負担も増える等の課題もある。	開催の必要性を考えつつ、職員の負担にならないような開催方法ができるよう話し合っていく。
3	バリアフリー化	階段に手すりやスロープなどが無いのが課題である。現段階では必要性のある利用者がいないため未設置である。	今後必要になった場合を想定して検討していく。